

Volunteer Information 日野

ボランティア
インフォメーション

4

2023年4月号
日野市ボラン
ティアセンター

新しい「ときめき」を
を見つける、春。



Check it!



ひのう



— まちにくわるるポータルサイト「Hi Know!」 —



イベント 情報

サークル 情報

講座 情報

最新情報は
Twitterにて!



趣味や学びの場を
お探しのあなたに!

「Hi Know!」とは…?

2022年9月にリニューアルした、
市民の暮らしと学びの応援サイ
トです。市民記者によるレポ
ートもお楽しみいただけます。

【Hi Know!についてのお問合せ】

Hi Know!事務局（日野市ボランティア・センター）

TEL 042-582-2318 メール hino-vc@hinosuke.org

ボランティア 募集情報

気になる活動をみつけたら・・・
「電話」または「窓口」にて、ボランティアセンターにご相談ください。
☎=042-582-2318 FAX=042-582-0082
窓口=日野本町7-5-23 (中央福祉センター内) 開所時間=月～金曜日 8:30～17:15

光の家 /旭が丘

視覚障害のある方が
生活する施設です。

日中の活動補助・作業補助

日時：曜日・時間帯応相談

ゆめのめ/ 日野台

医療的ケアが必要なお子さんの
放課後の居場所です。

利用者の見守り(1日2時間～)

利用者との遊び(1日2時間～)

日にち：春・夏・冬休み、
土曜、日曜

やまばと/ 旭が丘

知的・発達障がいのある方が、日
中通う施設です。

調理活動のメニュー作成と指導
(第4木曜午前)

活動の補助、話し相手
(個別活動：第1・3水曜午後、
ミニスポーツ：第2木曜午前、
おやつ作り：第2水曜午後)

光の家就労ホー ム/旭が丘

知的障害のある方が生活する施設
です。

日中活動の補助・作業補助

日時：曜日・時間帯応相談

おおぞら障害児放 課後クラブ/平山

特別支援学校に通う子どもたちの
放課後の居場所です。

利用児童の遊び相手

【日時】平日14時半～17時

南平ふれあい サロン/南平

地域に住む高齢者が集まるサロン
です。

高齢者との話し相手・お茶出し

【日にち】月曜・火曜・木曜・
金曜

【時 間】10時～12時半または
12時半15時

あるく・自立を目 指す会/石田

ヨガ講師と共に知的発達障害の児
童向けヨガ活動を行っています。

児童の活動補助

【日にち】各月の第2土曜または
第3土曜

【時 間】13時半～15時

デイサービスセンタ ーみどりの風/日野

民家を利用した
地域密着型通所介護事業所です。

日中活動の補助や手伝い
話し相手

【日時】曜日・時間帯相談
月一回でも可

【ボランティア依頼
ご希望の方はこちら】



ボランティア・センタ ーで出来る活動

使用済み切手整理

◆マルスの会：火曜日10時～12時

◆水曜サロン：水曜日13時半～15時

折り紙細工

◆たまてばこ：第1・3火曜日10時～12時

手芸

◆花みずき：第1・3月曜日13時半～15時半

日野市ボランティア・センターで活動している使用済み切手整理のボランティアさん

日野市ボランティア・センターでは、使用済み切手整理のボランティア活動を行っています。

使用済み切手をハサミで切り取り、種類ごとに仕分ける作業です。仕分けた切手は古物商さんに買い取っていただき、換金されたお金を地域に還元しています。

あなたも切手整理ボランティアに参加してみませんか？

水曜サロン

活動日：毎週水曜13時半～15時

<参加者の声>

みんなとおしゃべりしながら作業するのが、何よりも楽しいです。

来れる日にみなさんと一緒に作業しながらお話できて、楽しいです。



マルスの会

活動日：毎週火曜10時～12時

<参加者の声>

誰でも歓迎です。
和気あいあいとやっています。

ここに来てみなさんとお話するのが楽しいから、マルスが無くなった寂しいなあ。



自宅で簡単！ボランティア 使用済み切手の切り方



⇔約5mm

切手ははがさず、周囲を5mm

ぐらい残し切り取ります。

切り終えた使用済み切手は、

日野市ボランティア・センターへ

ご寄付ください。

使用済み切手 寄付募集中

【問い合わせ先】

日野市ボランティア・センター

日野市日野本町7-5-23

(日野市立中央福祉センター内)

TEL=042-582-2318

E-mail=hino-vc@hinosuke.org

日野市ボランティア・センターでは使用済み切手を回収しています。ご家庭で不要になった封筒(切手付き)を地域に貢献してみませんか。

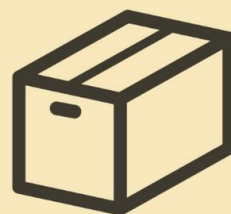


外国切手でもOK



封筒のままでもOK

個人情報が気になる方は個人情報部分を切り取りご寄付ください。



郵便物の切手でもOK

※破れていたり汚れのあるもの、セロハンテープが付いているものや折り目のあるもののご寄付はご遠慮願います。

福祉教育ハートフルプロジェクト が始まっています！！

子どもたちと共に、
暮らしやすい日野のまちづくりを目指します。

福祉教育ハートフルプロジェクトの取り組みは、平成28年に「障害者差別解消法」が施行され、その後日野市において令和2年に「日野市障害者差別解消推進条例」が施行されたことをきっかけに始めました。

法律や制度ができたとしても、私たち一人ひとりがその存在を知り、考え、行動に移さなければ良い変化は生まれません。そこで、学校の先生や行政の担当者と連携し、日野市の子どもたちが自ら学び考えるための福祉教材を考案・実践しています。



当事者の生の声を大切に授業を進めています



多様な当事者の話を聞く

当事者体験をする
白杖体験



当事者体験をする
車椅子体験

発表と行動に移す



▼福祉教育ハートフルプロジェクトとは

日野市独自の福祉教材（ハートフルブック）を通じて子どもたち一人一人が、周りを理解し、お互いを認め合い、そして自分自身を知ることができることを目指す活動です。子どもたちが「知る」「考える」「行動する」授業を、地域に暮らす人たちと創り上げていきます。

小中学校で一人一台パソコンが配布されていることを背景に、福祉教材は「電子教材」を採用、それぞれの学校の学びに合わせアレンジが可能です。

日野市
福祉教育
ハートフルブック

すべてのいのちがよこび
あふれる未来をつくっていく

▼ハートフルプロジェクトに関するお問合せ
日野市ボランティア・センター
TEL＝042-582-2318
メール hino-vc@hinosuke.org

食品（特にお米） 余っていませんか～？？



ご家庭で余っている食品はありませんか？
賞味期限が切れてしまう、その前に。あなたのご寄付が地域を支えます。

フードパントリー事業

地域みなさまから
ご寄付いただいた食品を
日野市内の生活にお困りの方に
配布しています。



2022年度は
日野市内で**2400箱**を
配布しました！

募集している食品

- 穀物（お米、パスタなど）
 - 飲料（ジュース、お茶など）
 - 保存食品（レトルト、缶詰など）
 - 調味料（醤油、ドレッシングなど）
 - 防災食品（アルファ米など）
- いずれも**未開封**で、
賞味期限が**2か月以上**あるもの

－ 受付窓口 －

- ① 日野市社会福祉協議会日野事務所（日野本町7-5-23）
※ 平日9時～17時
- ② 石田環境プラザ（石田1-13-4）
※ 月曜日以外9時～21時

【お問合せ】

日野市ボランティア・センター
TEL＝042-582-2318
メール＝hino-vc@hinosuke.org

スマホ個別相談会 参加者募集！

地域のボランティア
「スマホお助け隊」が
こんな質問にお答えします！

- ▶ 電話にうまく出られない
- ▶ メールを送りたい
- ▶ 写真を上手に撮りたい
- ▶ LINEを始めたい
- ▶ QRコードを読み取りたい

中央福祉センター（日野本町7-5-23）

4月10日（月）① 13：30～14：15 または
② 14：30～15：15

福祉支援センター（高幡1011）

4月27日（木）① 13：30～14：15 または
② 14：30～15：15

無料・完全予約制（お電話にてご予約ください）

※ 2か月連続の申込・同月複数回の申込は不可
※ 個人情報や料金に関わるご相談はご対応できない場合があります



スマホサロン「ぽちぽち」



何が分からないか分からない…
という方は、勉強会がオススメ！

■ 4月10日（月）「QRコードの読み取り」

【会場】 中央福祉センター（日野本町7-5-23）

【時間】 13：30～15：00 【定員】 10人程度

【お申込】 日野市ボランティア・センター

TEL＝042-582-2318 メール＝hino-vc@hinosuke.org

※ 当日飛び入り参加もOKですが、会場の密回避のため、事前にお申し込みいただけますと幸いです。

傾聴ボランティア入門講座

高齢の方のお話に耳を傾ける「傾聴ボランティア」を養成する本講座は今年で17年目、定員を大幅に超える42人の参加がありました。

①傾聴の基本②心の病の理解③高齢者の理解④認知症の理解をテーマとした講義は好評で「また受講したい!」というお声もいただきました。

参加者同士の和やかで活発な交流もあり、お友だち作りにもぴったりの講座です。来年の開催もお楽しみに!



渡辺べん氏・島村繭子氏
(2月17日 心の病の理解)



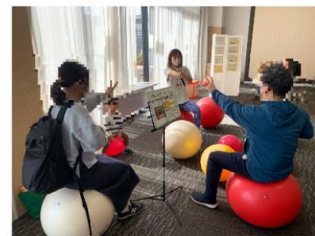
宮本芳恵氏
(3月3日 認知症の理解)

ポータルサイトHi Know!啓発イベント イオンモールDEチャレンジ

イオンモール多摩平の森で開催された本イベントは、2時間の来場者が「243人」と大盛況!ポータルサイトHi Know!の登録講師によるワークショップや音楽演奏をお楽しみいただきました。この日は多摩地域で活躍するヒーロー「バスターフラッシュ」も登場!こどもたちの「がんばれ〜!」という声援が会場に響き渡りました。趣味や講師をお探しのみなさま、ぜひHi Know!を活用してみてくださいね(^O^)



バスターフラッシュ登場!



バランスボールエクササイズ

助成情報

事業・団体名	募集日程	助成対象	問合せ先
【公益財団法人 みずほ教育 福祉財団】 第40回 「老後を豊かに するボランティア 活動資金助成 事業」	2023年 5月19日 (金) 必着	地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループ及び高齢者を主な対象として活動するボランティアグループ及びに対し、利他性を有する活動にて継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。 〈必要要件〉 ・グループメンバー:10人〜50人程度。 ・グループ結成以来の活動期間が満3年以上 ・本助成を過去3年以内に受けていないこと。 ・グループの組織・運営に関する規約、年度毎の活動報告書類及び会計報告書類が整備され、規約に定めるグループ名義の金融機関口座を保有していること。	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1丸の内センタービルディング TEL:03-5288-5903 FAX:03-5288-3132 Email: fjp36105@nifty.com 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部
【公益財団法人 日本生命財団】 2023年度 ニッセイ財団 高齢社会助成 「地域福祉 チャレンジ活動 助成」	2023年 5月31日 (水) 消印有効	地域包括ケアシステムの展開、そして深化(高齢者を中心に全世代支援・交流を志向)につながる活動へチャレンジするための助成を行います。 次の2つの要件を満たしている団体(法人格の有無は問いません) 活動実績のある ①助成テーマ(※日本生命財団HP参照)にチャレンジする意欲がある団体 ②他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体	〒541-0042 大阪市中央区 今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル4階 TEL:042-427-4278 Email: kourei-fukusi@nihonseimeizaidan.or.jp 公益財団法人 日本生命財団

ボランティア版

切手・ペットボトルキャップのご提供ありがとうございます

阿川サイクルセンター、秋間ボーリング商会、あしなが育英会、居酒屋はっぴい、石坂ファームハウス、伊勢屋呉服店、カメラの市川、インド食堂アンジュナ、大塚設備、奥澤秀一、落川交流センターほたるの里、北村中、グループホームしらかば、珈琲ハウスあんず村、学朋日本語学校、小島善太郎記念館、小玉武子、さいたま市大信機工、斉藤智子、相模原市宮崎会計事務所、平商事、清水工房揺籃社、栗谷清子、おおぞら・つばさ、潤徳小学校 30 年卒業組、食事処千寿庵、食品の店おおた、神具仏具かどや、寿司正、駄菓子ほしもと、大安整骨院、八王子玉泉寺、高幡不動尊、滝瀬米店百草店、立川市岩本でんき、多摩平六郵便局、多摩平リフォームのハウスコート、中央大学、中央大学内郵便局、中央大学ボランティアセンター、帝京大学・帝京大学短期大学八王子キャンパス、リヴェージュ百草園、デイサービス・ツクイ日野、手打蕎麦・むら岡、東京日野プロバスクラブ、東新観光、とうふ処三河屋高幡本店・万願寺店、鮮魚魚久、ネッツトヨタ日野バイパス店、東邦歯科医療専門学校、都立二商 33 年柔道部・36 年 1 組同期会・36 年排球部・硬式野球部又達会、七生中学校 08 平潤会・08 平潤会 V・C・出水先生 33 年絵画部有志・同窓会、中島寝具店、ひなたぼっこ、薬局しらい、日野いずみ会、日野自動車 36 ばたん会、日野自動車販友会、日野下田郵便局、日野市役所七生支所・第一中学校、南平富士屋洋品店、堀内ふとん店、ひの写真散歩（游游）、平山小学校 30 年卒業組、平山台文化スポーツクラブ、フォーラム不動産、フルーツみすみ、森久保クリニック、町田市笠間吉之助、町田市菓舗中野屋、南平緑と水のネットワーク、麦倉眼科、明星大学ボランティアセンター、百草食品、水口晴海、やきとり・よっちゃん、焼肉彩苑モランボン、三沢町久富歯科、南観光交通、山田哲美、レストラン木馬、東京光の家、久和の美会、由木農園、新東光寺自治会、湯沢福祉センター、ライズケアプラン三沢、ライズディサービス、ライズ訪問介護ステーション（順不同敬称略。法人格等も省略させていただいております。対象期間：2023 年 2 月 1 日～2 月 28 日）

本紙を置いてくださっている配布協力店一覧

- きなせ屋 ● cafe シェ-ヌ ● うの花亭 ● 豆富処 三河屋 ● お cha ギャラリー祥 ● 一品料理 大関
- サカエ茶楼 ● スローワールドおちかわ屋 ● 多摩バードクリニック ● おいなり食堂 ● よしみ鍼灸接骨院
- 焼肉 幸楽園 ● 麒麟坊 ● 物集女 ● クレープの店 ちゃとらん旭が丘店 ● うなぎ藤田 ● バーゼル豊田店
- イタリアンワインバーフレスコ ● リストランテ ピッコロレガーロ ● 定食みつはし ● KUPLI ● レストラン木馬
- 百草食品 ● 高幡まんじゅう松盛堂 ● 阿川サイクルセンター ● 割烹「よこ坂」● 鮮魚魚久 ● れんげ cafe
- パティスリー・ドウ・シェフ・フジウ ● 珈琲ハウス あんず村 ● 炭火焼・鉄板焼 まこっちゃん豊田駅ロータリー前店
- 手打蕎麦・むら岡 ● インド食堂アンジュナ ● 寿司正 ● Canaan ● やきとり「よっちゃん」● マルハン日野店
- サロン・ド・ハーモニー ● マジオドライバースクール多摩校 ● リサイクルショップ「ハートリボン」● カフェ平山台
- パンの店あおとり ● スーパーアルプス（日野店・南平店）● コープみらい（日野駅前店・高倉店）
- いなげや（日野万願寺駅前店）● 食品の店おおた（多摩平店・神明店）● ヤオコー日野南平店 ● SAP日野店
- フーズマーケットさえき多摩平の森店 ● 鮭千 ● ホリデー車検八王子高倉 ● なかたの森整骨院

ペットボトルキャップ リサイクル活動報告

2023 年 2 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 13 日 分

重さ 約 255.60kg（約 109,908 個）ワクチン合計 約 85 人分 になりました。

ワクチンの種類 < ポリオ・MMR・BCG・MR・DPT >

※ ポリオ = 小児まひ・急性灰白髄炎 ※ MMR = 三種混合（麻疹・おたふくかぜ・風疹）

※ BCG = 結核 ※ MR = 麻疹・風疹 ※ DPT = ジフテリア・百日咳・破傷風



- ※お願い (1) リサイクルの対象となるのは、ペットボトルキャップまたはプラスチック素材のキャップです。それぞれ別の袋に分別してください。
(2) 汚れているキャップは、軽くゆすいでよく乾かしてからお持ちください。
(3) 活動に参加する際は、ペットボトルキャップの 3R（リデュース＝減らす、リユース＝再使用、リサイクル＝再資源化）にご協力ください。

◆ 日野市ボランティア・センター（日野市日野本町 7-5-23 ☎ 042-582-2318）

◆ 日野市社会福祉協議会・高幡事務所（日野市高幡 1011 ☎ 042-591-1561）

📶 まちづくり人 コラムリレー 📶

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！



NPO法人
ホスピタリティティーひの代表
酒井照子さん

みなさんとの出会いで紡いだ思いを繋いでいく

振り返ってみると、私のボランティアの原点は、40年ほど前にアメリカで3年間暮らした時の事でした。当時、日野市に家を持って間もなく、突然の夫の転勤によりアメリカに渡ったのです。私と子どもは英語の勉強や異国での生活の仕方など大勢のボランティアの方の支援をいただきました。そして少し経った時に、知人の紹介でキャンサーアソシエーションという癌患者の支援団体の活動を知ったのです。そこでは、癌患者1人に対して10人の支援者が付くような仕組みでした。活動をしているとアメリカではいろいろなボランティア活動があることを知りました。生活困窮者の本当の過酷な状況などを目の当たりにする経験等もしてきました。

最初に紹介されたのは身体障害のある方の施設や日野市立病院のボランティアでした。当時、病院では入院している多くの子どもたちをどうケアをするかというところが課題となっており、こういうわけか勉強会に私も誘ってもらいました。それからすっかり病院に関わるようになり、ついには病児保育を行うためにNPO法人ホスピタリティティーひのを立ち上げるまでに至ったのです。

実は、何事も自分から進んでというよりは、活動を一生懸命しているうちに声をかけていただくことばかりでした。お願い

帰国の際に、お世話になった

ボランティアの方に「お礼はどうしたらいい？」という「日本に帰ったらアキコもボランティアをしてね」と言われたのです。その言葉をもらったことから帰国後にボランティアセン

ターに向かいました。

最初、紹介されたのは身体障害のある方の施設や日野市立病院のボランティアでした。当時、病院では入院している多くの子どもたちをどうケアをするかというところが課題となっており、こういうわけか勉強会に私も誘ってもらいました。それから

すっかり病院に関わるようになり、ついには病児保育を行うためにNPO法人ホスピタリティティーひのを立ち上げるまでに至ったのです。

実は、何事も自分から進んでというよりは、活動を一生懸命しているうちに声をかけていただくことばかりでした。お願い



がんカフェの様子

されると断れない質なので：：その都度、いろんなことを勉強しに行くのですが、勉強を重ねる度にいろんなことが繋がっていくのです。最初は精神疾患の勉強から始め一つの資格を取得しました、講師や知り合った参加者に誘ってもらい次から次へと学びを重ねていき、それと共に活動も広がっていきました。現在代表を務めているホスピタリティティーひのでは、病院内で癌患者やその家族が集える場「がんカフェ」や医療に関する勉強会など市民の健康回復と予防をサポートする活動をしています。これからも市民活動として様々な人と共に続けていきたいと思えます。

私自身、いろんな方にかわいがっていただき、助けられてきました。人とのご縁で紡いできたことを、今度は私がこれまで培っていったことを若い人に繋いでいけたらと思っています。

編集後記

我が家の文鳥さんはスマホが大好き。「お友だちだよ～」と文鳥の動画を見せたら、すっかり夢中に。毎晩スマホの画面をくちばしでコツコツついて「文鳥を見せろ」と催促してきます。鳥さんって賢いんですねえ～（堤 彩）

長女が高校生、そして次女が中学生になります。あっという間に成長していく子どもたち嬉し寂しいそんな気持ちです。新たな環境でも自分らしく成長して欲しいと願います。楽しい日々を送れますように(人・人)（宮崎雅也）

いちご狩りに栃木県に行きました。たくさん食べるぞ！と意気込んで参加したにも関わらず、10分でギブアップ、(;-ω-;)/。これからは果物狩りは持ち帰りがあるところにしよう。そう思った日帰り旅行でした。（近藤彩来）

娘が念願のホテルのフロントのアルバイトを始めました。日中の仕事が終わってからダッシュでホテルに向かいます。初日でギブアップしそうな顔で帰ってきました。色々言いたいところですが、本人が好きで始めたので静観しようと思います。さていつまで続くか？（中村康子）